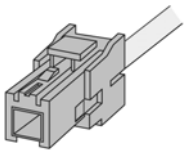
・・・・・・・・この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。・・・・・・・・

パナソニック ['08/'09 ナビ]に適合！地デジ用アンテナ&コードセット

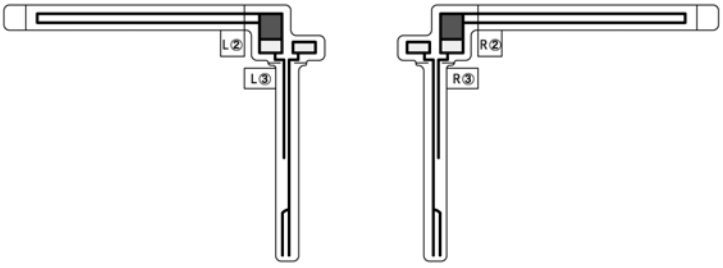
取扱説明書

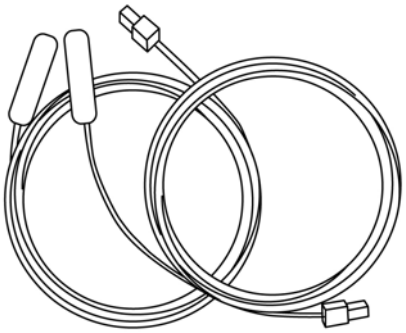


VR-1コネクター

１．構成部品

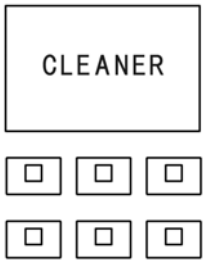
フィルムアンテナ　２枚
（ダイカットアンテナ）





アンテナケーブル　４ｍ　２本

クリーナー　１枚



コードクランパー　６個

２．フィルムアンテナの取り付けについて

取り付けのご注意

●保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく取り付けてください。
※保安基準　　道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付け国土交通省令第 95 号
●車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーター等から出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
●車種によっては貼り付けられない場所があります。
●熱線反射ガラスや、断熱ガラス、電波不適合ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には受信感度が極端に低下します。
●フィルムアンテナの透明フィルムやアンプ裏面のはくり紙をはがした後は、給電端子などに触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
●ピラーにフロントエアバックを搭載している車両には貼り付けることができません。
●フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
●作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
●気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内にヒーターやデフロスタースイッチをＯＮにしてフロントウィンドウを暖めながら作業を行ってください。
●他のＴＶアンテナ・ＥＴＣ受光部などから 100mm以上離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられない事があります。
●一度貼り付けてからはがすと粘着力が弱くなり、貼り直しができません。必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に確認してから貼り付けてください。

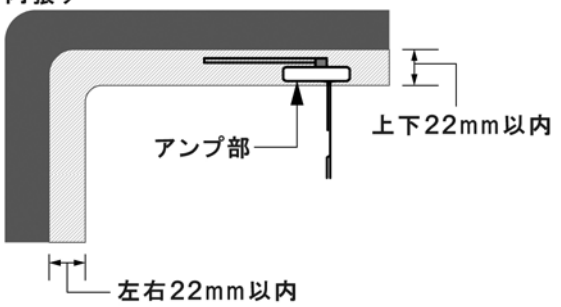
次のような場所では映りにくいことがあります

●ビルとビルの間
●送電線が近くにある場所
●放送局から遠い場所
●山かげや木立のかげになる場所
●上空を飛行機が通過または、電車が近くを通過している場所
●自動車、バイク、高圧線、ネオンサインが近くにある場所
●ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナが近くにある場所

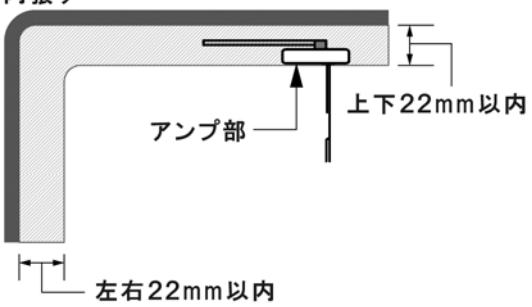
３．フィルムアンテナの取り付け例（推奨）

●取り付け許容範囲について
アンテナアンプ部は必ず取り付け許容範囲内（ 部）に取り付けてください。

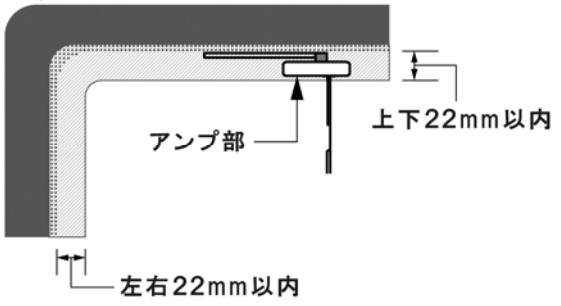
・セラミックライン有り
内張り



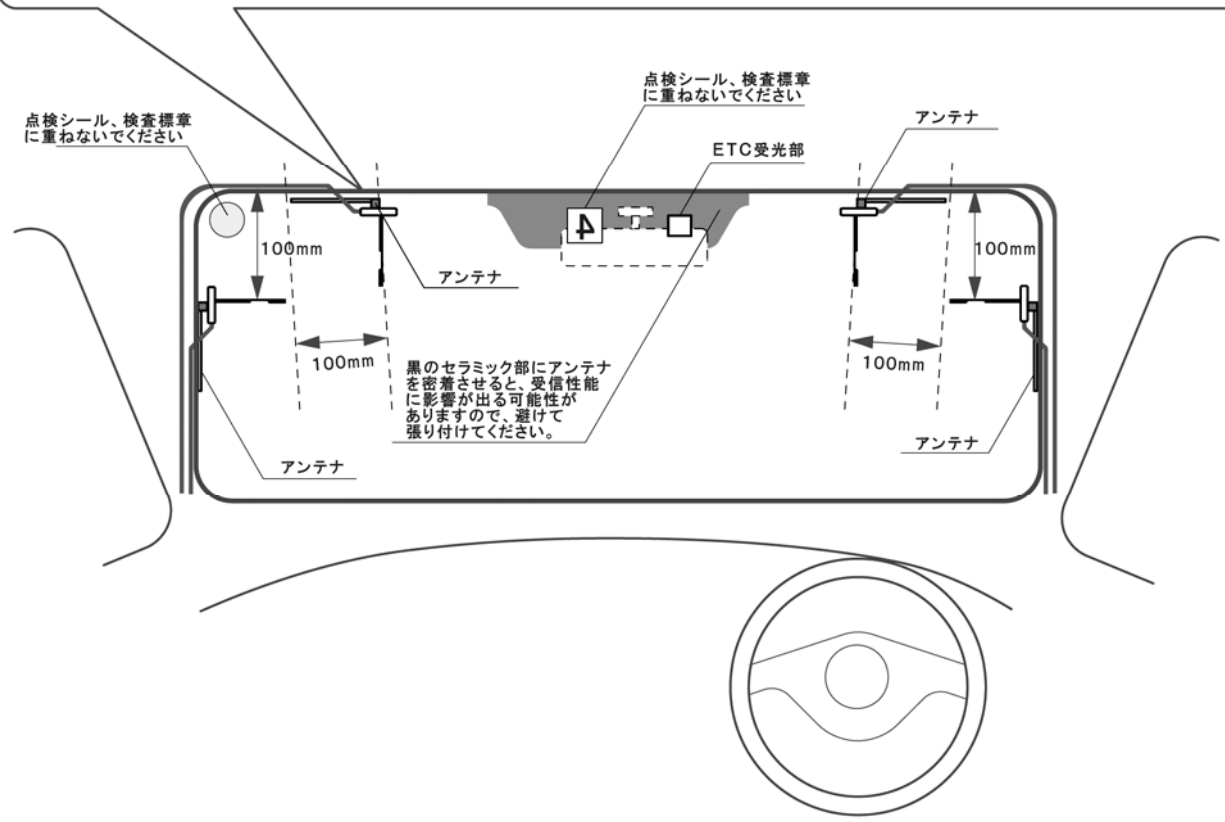
・セラミックライン無し
内張り



内張り



セラミックライン
フロントウィンドウの端の黒い部分、
および黒いドット（点々のこと）部分



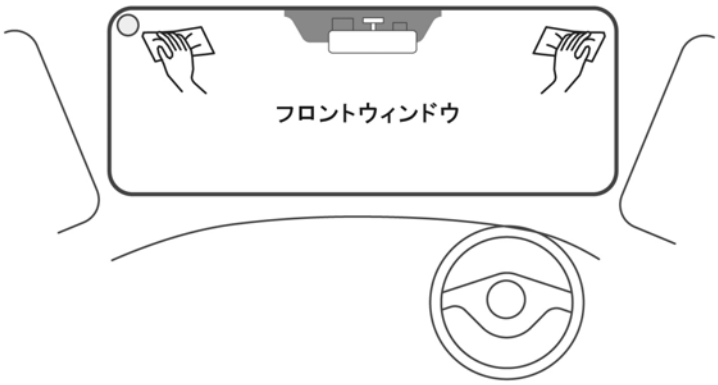
●上記記載寸法は基準寸法となります。
・基準寸法に対応できない場合はできるだけフロントガラスの端に貼り付けてください。
・他のＴＶアンテナ・ＥＴＣ受光部などから２０mm 以上離して貼り付けてください。

●ナビゲーションＴＶアンテナ・ＦＭ多重アンテナがない場合
・ウインドウの上隅から下へ１００mm 離れた場所にアンテナを合わせて貼り付けてください。
・他のＴＶアンテナ・ＥＴＣ受光部などから１００mm 以上離して貼り付けてください。

4．フィルムアンテナの貼り付けについて　（図は左側の説明です。右側は対象の作業になります。）

a．貼り付ける前に

貼り付ける場所のホコリ、油、ワックスなどを付属のクリーナーできれいにふき取り、乾燥させてください。

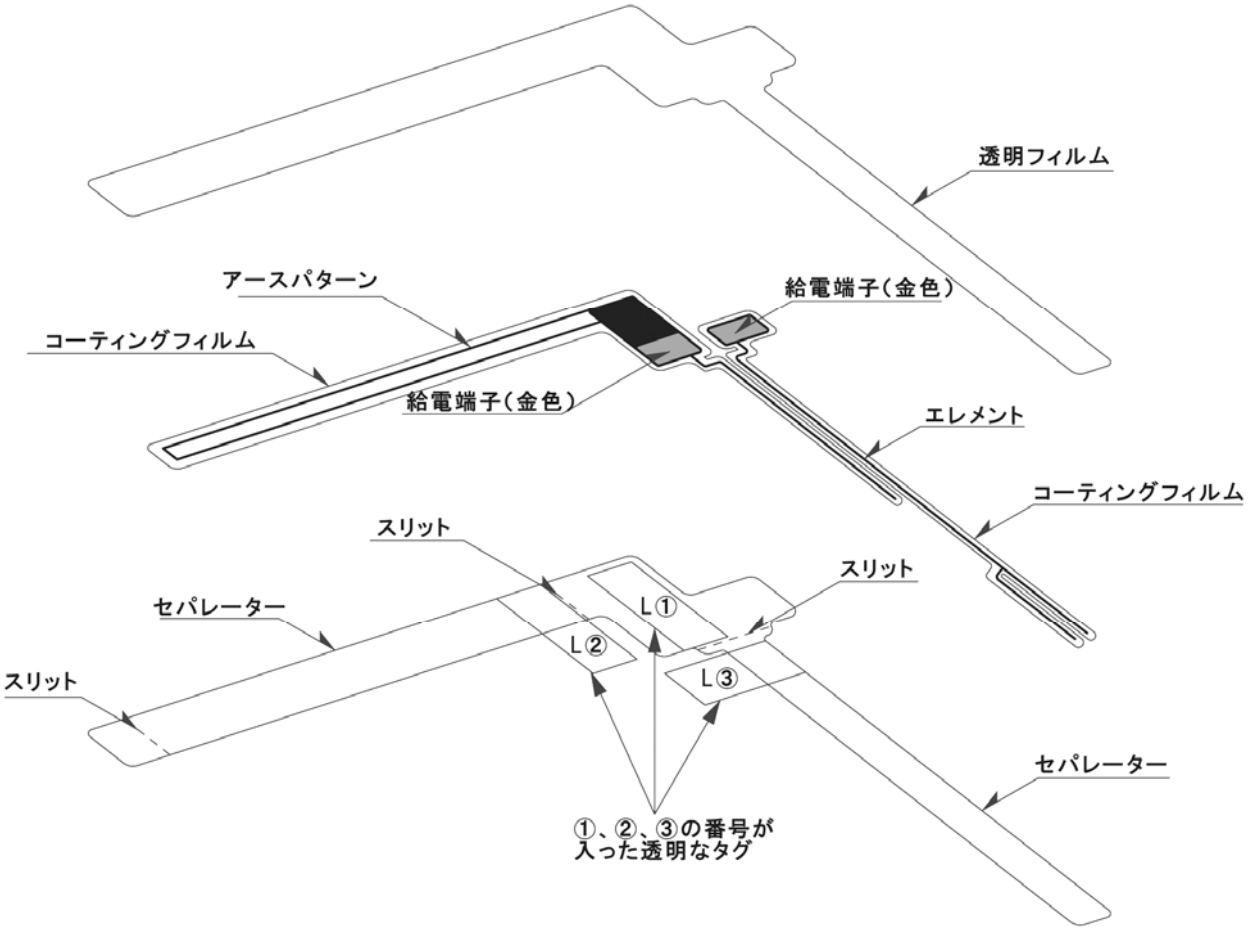


b．フィルムアンテナの構成

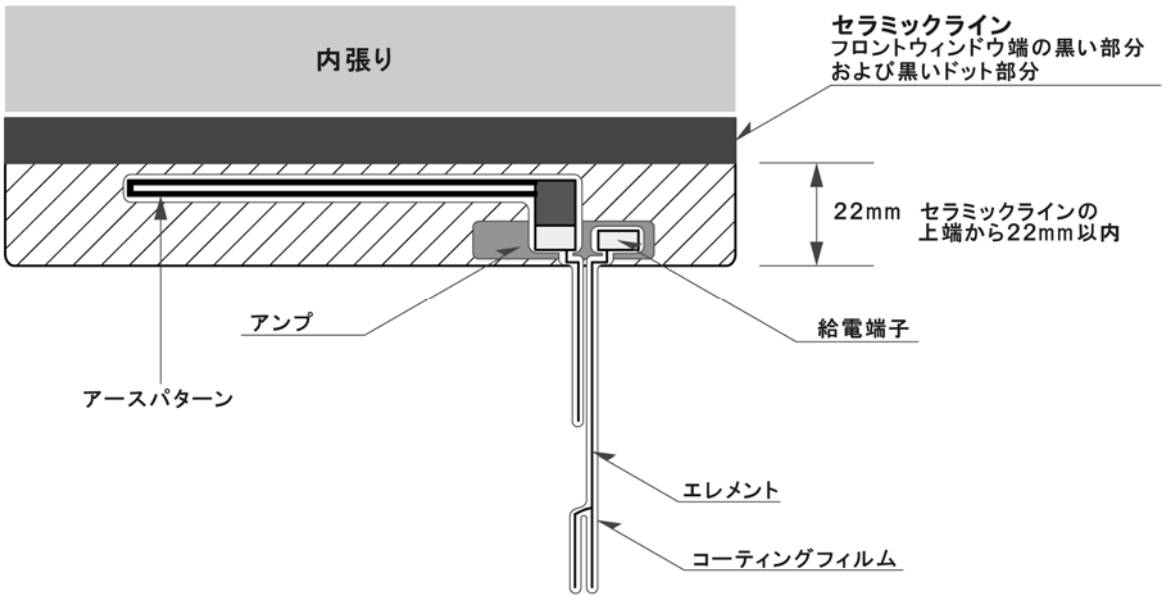
1）フィルムエレメントは３層に分かれています。

2）エレメントは透明フィルムとセパレーターの間に挟まれています。

3）エレメントの金色部が給電端子です。



c．貼り付け許容範囲について



●給電端子は必ず取り付け許容範囲内（ ▨ 部）に取り付けてください。
●フィルムセパレーターをセラミックラインに合わせると、給電端子はセラミックライン上に貼り付く事はありません。
●取り付け許容範囲外に取り付けると車検の際、不適合となります。

d．フィルムアンテナをウィンドウに貼り付ける

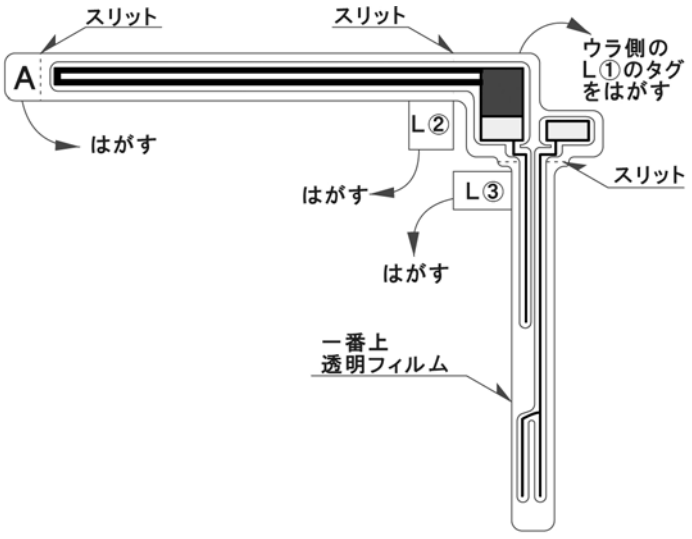
1）セパレーターは４つに分かれています。右図では、左の給電端子のウラ側にあるＬ①のタグを持ってセパレーターをはがし、取り付け許容範囲に給電端子部分からエレメントをウィンドウに貼り付けます。

2）Ｌ②のタグを持ってアースパターン部のセパレーターをはがし、アースパターン部の上から指で軽くこすってください。

3）Ｌ③のタグを持ってエレメント部のセパレーターをはがし、エレメント部の上から指で軽くこすってください。

4）セパレーターをはがし終えたら給電端子部とアースパターン部とエレメント部がウィンドウに充分貼り付くように、透明フィルムの上から樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてガラス面に貼り付けてください。（加圧が不足すると薄い色のブルーフィルムをはがす際に、エレメントがはがれたり、断線する恐れがあります。）

5）アースパターン部の左はじ（右図の場合Ａ部）を持ってゆっくりと透明フィルムをはがします。



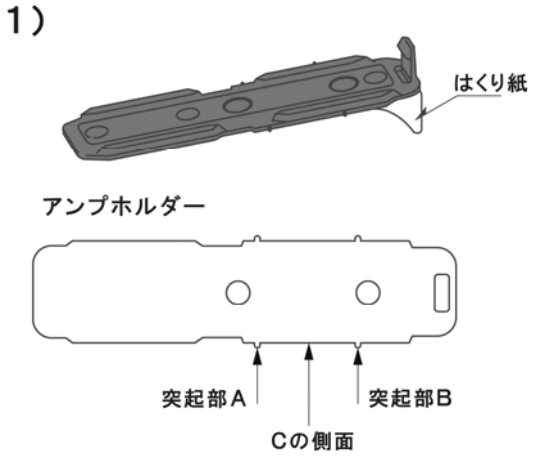
５．アンプの貼り付け

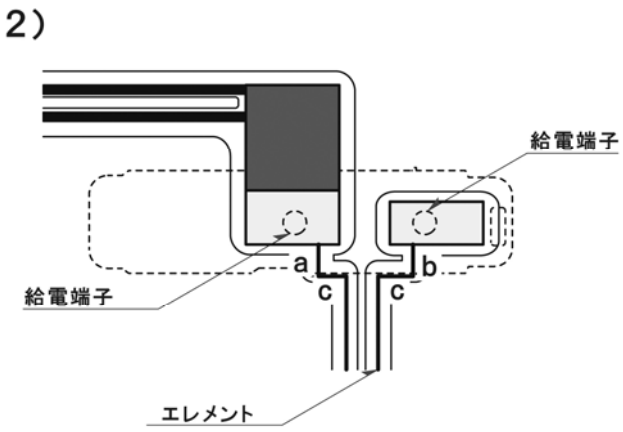
１）アンプホルダーの裏面にある、はくり紙をはがします。

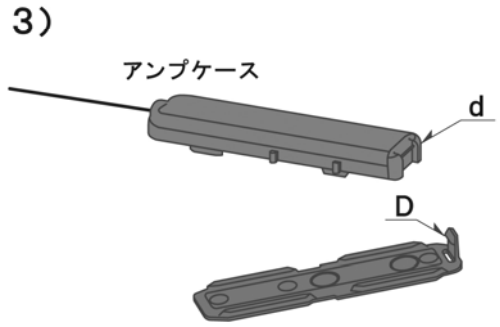
２）アンプホルダーにある２つの突起部Ａ、Ｂとエレメントのａ、ｂが重なるように、またアンプホルダーの
Ｃの側面とエレメントのｃと重なるようにアンプホルダーを置きます。

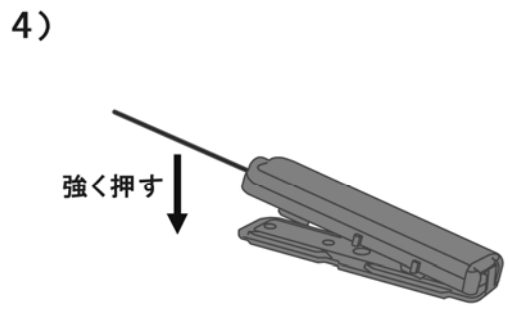
３）アンプホルダーのツメ部Ｄとアンプケースのｄを合わせアンプケースをかぶせます。

４）アンプケースを強く押し、「カチッ」と音がすることを確認してください。





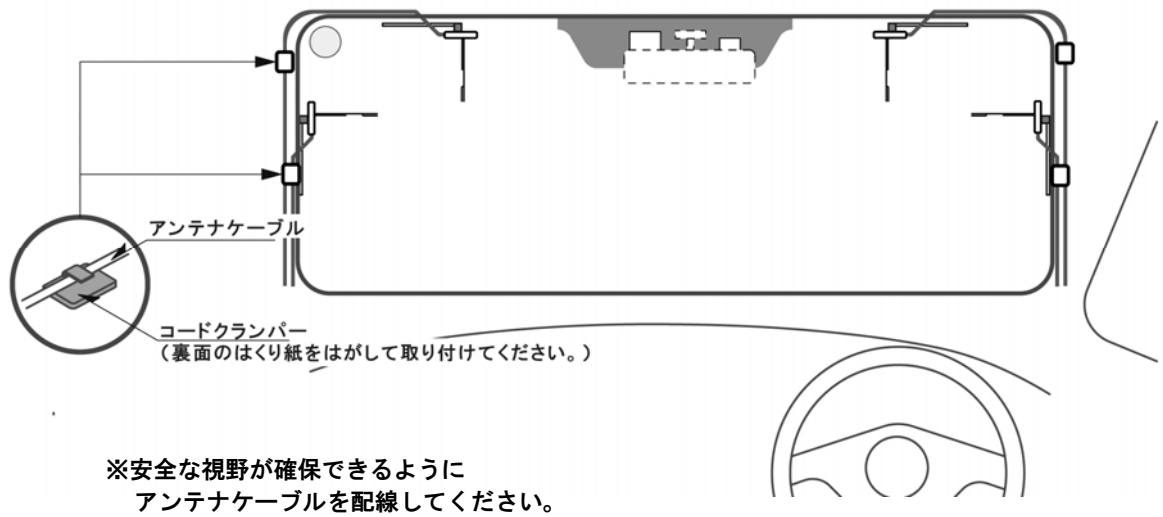




６．アンテナケーブルの配線

ａ．ケーブルの配線

１）アンテナケーブルはコードクランパーで固定しながら配線します。

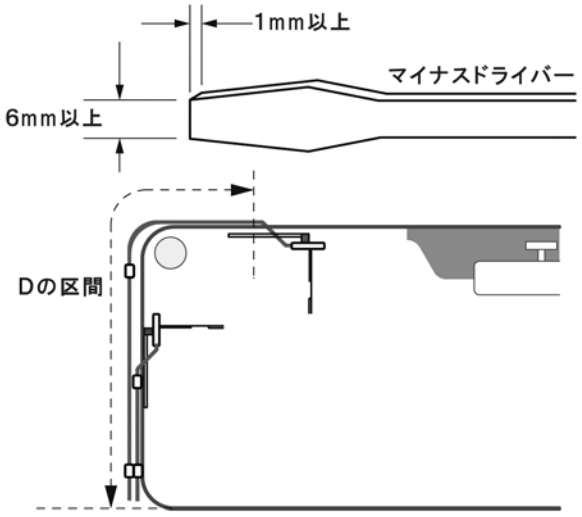


※安全な視野が確保できるように
アンテナケーブルを配線してください。

b．ケーブル配線のご注意

1）アンテナケーブルをピラー（Dの区間）の端から奥に押し込む場合は、下記の寸法以上の工具をご使用ください。
推奨工具：マイナスドライバー（先端部分は、幅：6 mm 以上、厚み：1 mm 以上）又は、相当品の工具としてください。）

※絶対に先端部分が鋭利な工具で、アンテナケーブルを強い力で無理やりに押し込むような作業は避けてください。このような作業を行った場合、破損（断線）する可能性があります。



2）推奨工具を使用しアンプの根元（アンプ下側のガイド）から、アンテナケーブルに対して平行になるように工具を軽く押し当て（図―A）、ゆっくりと徐々に力を加えてピラーの端から奥へ、真っすぐにアンテナケーブルを押し込むように作業してください。

3）アンテナケーブルをピラーの端から奥に押し込む場合は、工具の先端部分が、直交（図―B）になるような角度での作業はしないでください。

※このような作業を行った場合、アンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。